

事業所名

ヒトツナ麻布教室

支援プログラム

作成日

2024年

8月

5日

法人（事業所）理念		～人との繋がりを大切に、人との繋がりをもっと楽しく～ 弊社は、子どもは権利の主体であるという児童憲章の考えに基づき、子どもたちが安心して自分を表現できる風土を大切にします。「子どもは主体そのものであること」とは子どもが自分らしさを大切にしながら成長し、自分の人生を生きていくことやその経験の保障だと考え、子どもの意欲や主体的な行動を尊重する支援を行って参ります。弊社が、お子様にとって安心安全に自分らしさを発揮できる環境になることで、お子様は「やってみたい」という気持ちを存分に発揮し、安心して何事にも積極的に取り組むことができるよう、自信と意欲の育ちをサポート致します。								
支援方針		①応用行動分析による行動の背景に目を向けた支援を行います。 ②TEACCHの理念に基づき、お子様を「直そう」とする支援ではなく環境調整に働きかける支援を行います。 ③発達の最近接領域の考えに基づき、「今日の子どもの姿」を起点とした支援を考えます。								
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康面では心の健康、情緒の安定を大切に考え、家庭を軸とした基本的な生活習慣の構築を図るとともに、本人が健康に安心して暮らせる環境ベースを家庭や関係機関と一緒に作り上げていく。 身辺自立を目指すなかで、本人が苦手とするもの（自信の無さ、苦手意識、微細運動の未発達等）を理解し、困りごとを減らしながら、自分で取り組めるよう環境を整え支援する。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 広い場所での粗大運動を中心としながら、体全体のバランスを見ていく。個の課題を見つけながら、供給動作や腕支持運動、脚力強化、体幹強化、平衡感覚などを育み、その後の微細へ繋げていく。また発語の弱い子には、体をしっかりと動かし発語を促すなどの要素も取り入れて行う。 机上遊びでの微細運動、ビジョントレーニングなどを行う。運動面と連動させることで、姿勢保持へのアプローチも行っていく。また感触遊びなどと関連付け、色彩感覚など行う。 感触遊びを行い、感覚刺激を入れていく。感覚過敏、感覚鈍麻への刺激も行い、幅広い遊びへ広げていく。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 低月齢児には、自分と他人の認識や区別、認知を行う。行動は分かりやすくパターン化するとともに、意識づけとして声掛けや視覚優位、聴覚優位などを理解しながら進める。 高月齢児になると、空間認知、数量、概念などを取り入れる。物の大きさや数、長さ、量、時計や時系列、曜日、日にちなど就学に向けて認知を高めていく。 認知が確率しつつなる中で、自分の行動や活動に意欲を持って参加できるようなプログラム構成を行う。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 喃語から発語へ。個の状況を見ながら様々な視点からのアプローチを行う。粗大運動を通して、口腔の状況、咀嚼の状況、聴覚等言葉を発することに必要な要素を見ていく。 発語をただ促すだけでなく、絵本や歌等その子が発語（発音）を楽しみと思える刺激で誘い、促していく。 コミュニケーションに関しては、まず情緒の安定から整え、大人が仲立ちとなりながらも、時には子どもを見守りながら、子どもたちに託す関係性も構築していく。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 自分の居場所がしっかりと安定してきた中で、徐々にヒトツナでの小集団に居場所を心地よく感じられるように進める。また言葉を使ったり、お互いの表情から読み取ったり、時には同じ空間で過ごすことを心地よく感じられるような環境づくりを行い、さりげなく仲立ちとなって促していく。 高月齢に関しては自分の役割をもらい、活動をする中で、自分の活動に責任を持って取り組む経験ができるようなプログラムを取り入れる。ヒトツナという小さな社会ではあるが、その一員として過ごせる環境を作っていく。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 個別での相談援助、グループでの相談援助 子育てサポート 				移行支援		障害の有無にかかわらず多様な地域の子どもたちが集まる場として、同年代との交流を促進したり、保育所等との連携により就学時期へのサポートを行います。		
地域支援・地域連携		利用児童に関わるソーシャルワークとの連携や、地域活動の実施によって利用児童の成人後の将来に向けて”地域とのつながり”を意識した支援を行います				職員の質の向上		月に2回の継続研修の他、児童精神科医によるコンサルテーションによって専門性を高めます。		
主な行事等		4月…進級の会、5月…こどもの日・母の日、6月…時の記念日・父の日、7月…七夕、8月…夏祭り、9月…お月見 10月…ハロウィン、11月…七五三のお祝い、12月…クリスマス会、1月…お正月遊び、2月…節分、3月…ひな祭り、お別れ会								